

◆◆◆各種ツール類解説◆◆◆

本アプリケーションはインテリジェントコントローラー「XE1AJ-USB (サイバースティック) : 以下、本機という」の動作確認・校正 (キャリブレーション) を行うためのアプリケーション・ソフトウェアです。主にアナログモードでの調整を行うものです。

Windows10 (32bit/64bit) 及び Windows11 でご利用いただけます。

<ご利用の前に>

ご利用の際、Steam などの常駐型ゲーム管理アプリケーションが動作している場合は、一旦これらを終了してから本アプリケーションをご利用ください。

Steam はデスクトップ上でのジョイスティックの動作も制御可能であるため、調整に影響する場合があります。お手数ですが、Steam の常駐がある場合は、一旦これを「終了」してから本アプリケーションをご利用ください。

<調整時はスティックとスロットルを工場出荷時の配置にする>

調整時はスティックとスロットルを、工場出荷時の配置で行ってください。

スティック : 本体の「右」に装着

スロットル : 本体の「左」に装着

※スティックとスロットルを入れ替えても、アプリケーションは変化を認識できないため、ツール類に表示される画像 (スティックとスロットル) が入れ替わることはありません。

<調整中のご注意>

本アプリケーションの使用 (及び調整) は、特段の理由がない限り本機の USB ケーブルをパソコンの USB 端子から取り外さないでください。

途中で取り外すと、調整内容が不明な値となり、再調整が必要になります。また、場合によってはファームウェアの破損が発生する恐れがあり、故障に至る可能性があります。

<重要 : 設定完了後に必ず行うこと>

「アジャストサポートツール」と「入力領域調整ツール」本アプリケーション類で設定や調整を行ったあとは、アプリケーションを終了する前に、必ず「設定書き込み実行」ボタンを押して、設定を本機に書き込み (記憶) させてください。この操作を行わないと、設定が本機に反映されません。

<調整レベルに応じて3つの動作モードを選択できます>

本機には以下の3つの動作モードがあります。

- ・ **ノーマルモード** (POWER : [赤]ランプが点灯)

本機の USB ケーブルを対応ゲーム機やパソコンに接続することで使用できます。

ゲームなどで使用する標準のモードです。

- ・ **調整モード[キャリブレーションモード]** (POWER : [赤]と ADJUST : [緑]ランプが点灯)

「アジャストサポートツール」や取扱説明書 (12 ページ) に記載の「キャリブレーション」で使用するモードです。

- ・ **設定モード** (POWER : [赤]と ADJUST : [緑]ランプが点灯)

「調整モード」よりも細部を調整することができます。「調整モード」が主に基準となる値を調整するのに対し、「設定モード」は、その基準を元に、スティックやスロットルのデッドゾーン (遊び)、スロットルやスティックの可動範囲 (動作速度に影響)、動作の反転といった、ゲームの操作などに直接変化を加えるものとなります。よりマニアックな設定が可能となります。

<アプリケーションの起動に関して>

本アプリケーションにはインストーラーはございません。

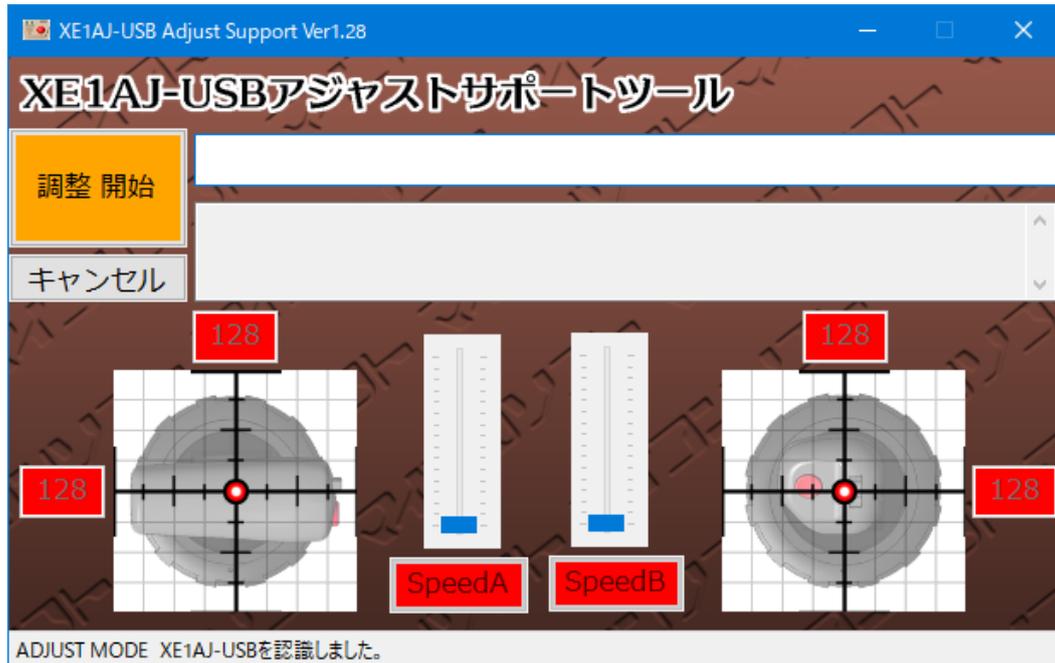
本アプリケーションは1つのランチャーアプリと、「tools」フォルダ内の4つの独立したアプリケーションで構成されており、それぞれの実行ファイルをダブルクリックで直接起動してください。なお、弊社ではできるだけ「サポートツールランチャー」を利用して各アプリケーションを起動するようお勧めしています。

<サポートツールランチャー>



<アジャストサポートツール>

(キャリブレーションを行う)



本機は、ボリュームなどのメカ部品（アナログ部品）の動作を A/D コンバーターで読み取っています。このため、季節や室温、使用頻度、部品の個体差によって微妙にデータの読み取り値が変化することがあります。こういった個体差や誤差を校正（キャリブレーション）するアプリケーションが「アジャストサポートツール」です。

本アプリケーションは、本機のご利用に際して操作に違和感（体感するほどの変化）を感じた場合にご利用ください。

準備 1 : パソコンの USB 端子に本機の USB ケーブルを接続します。

準備 2 : ランチャーから「アジャストサポートツール」ボタンをクリックして起動します。

準備 3 : 「オレンジ」色の「調整 開始」ボタンをクリックします。

「Reset+START ボタンを押して調整を開始。」というメッセージが表示されます。

また、「事前準備として本体を水平にし、SpeedA、SpeedB を最小、B M/A/HOLD を AUTO、MODE を ANALOG に設定してください。」と表示されますので各スイッチやボリュームをそのように設定してください。

ウィンドウ上の表示（「説明文」や「赤い矢印」）に従って調整を行います。

<入力領域調整ツール>

「入力領域調整ツール」は、主に以下の4種類の機能を持っています。

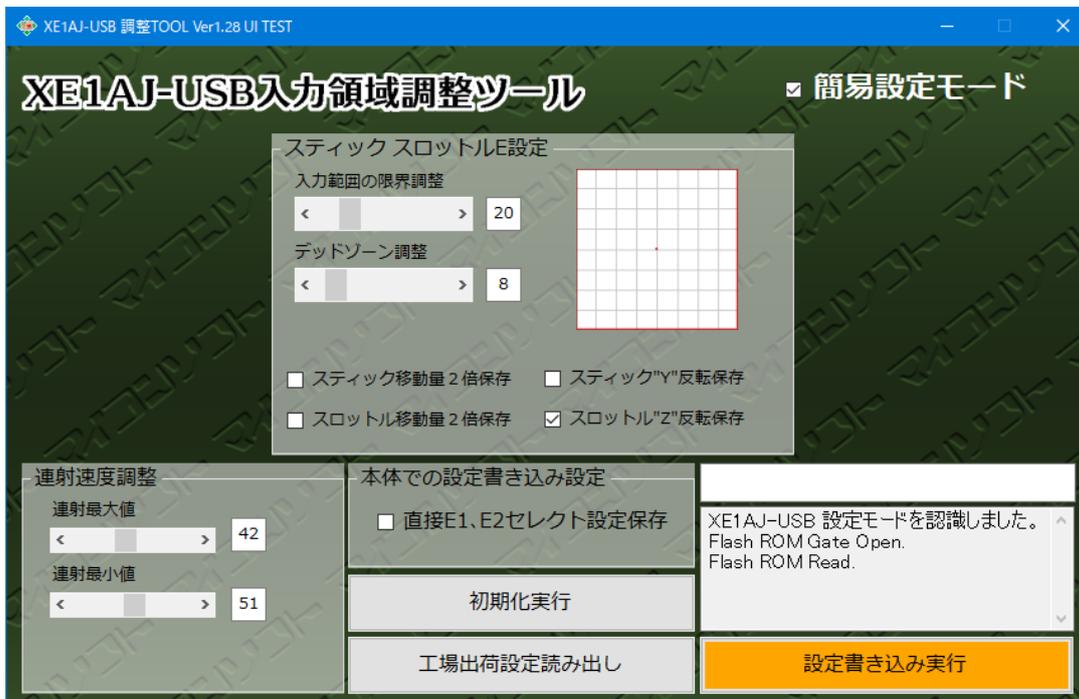
参考：「簡易設定モード」を使用すると、以下の機能を簡単に調整することができます。

<入力領域調整ツール（標準モード）>



<入力領域調整ツール（簡易設定モード）>

参考：簡易モードで設定された調整値は、標準モードに変更しても維持されます。

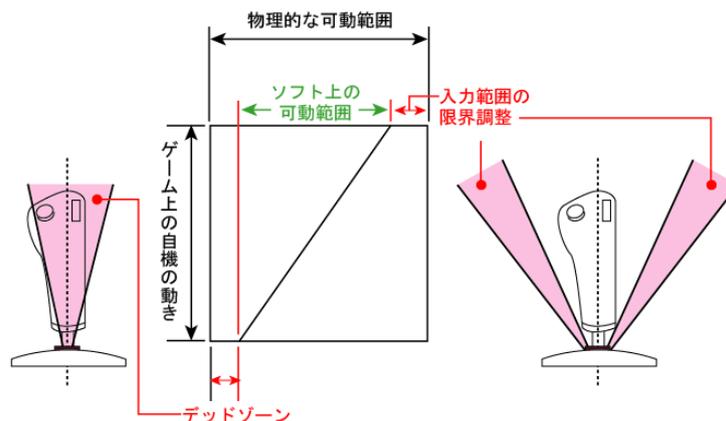


1、「スティック設定」と「スロットル設定」の「デッドゾーン（遊び）」の設定

製品の微妙なばらつきや、長期間使用による内部のスプリング（バネ）の劣化、温湿度の違いによる潤滑油（グリス）の状態によって、スティックやスロットルが直立した時（手で触れていないとき）に、がわずかに傾き、ゲームのキャラクターなどが勝手に移動する場合があります（例えば飛行機のゲームで、操縦かんを握っていないのに、自機が右や左、上や下に傾いてしまうような現象）。この様な時に、スティックやスロットルが直立した時、どの程度傾けば感知するか（感知するまでの鈍さ）をユーザーが設定する機能です。

操作画面上ではスティックやスロットル中心部の赤い領域がその遊び（デッドゾーン）となり、感知しない領域となります（赤い部分の外周（白いマス目との境界）が「0」となります）。スティックの場合「Xデッドゾーン調整」は水平方向、「Yデッドゾーン調整」は垂直方向の調整を行うことができます。スロットルは「Zデッドゾーン」の調整となります。

なお、この値を広く取ればスティックやスロットルの未感知の領域を広げられますが、大きく取りすぎると、スティックやスロットルを大きく動かさなければゲーム中の自機やキャラクターが動き出さないため、その点はご注意ください。



2、「スティック設定」と「スロットル設定」の「入力範囲の限界調整」の設定

「入力範囲の限界調整」はスティックとスロットルの最大値をどこに設定するか、を調整する機能です。操作画面上ではスティックやスロットルの外周部の赤い領域がその限界値となり、赤い部分が上限を超えた部分となり、感知しない領域となります（赤い部分と白いマス目の境目が「255」となります）。この調整値を大きくすれば、スティックとスロットルを大きく動かさなくても最大値に至ることができるため、事実上ゲーム中の自機やキャラクターを速く移動させることができます（敵から速く逃げたり、敵を速く追いかけたりできます）。

参考：「入力範囲の限界調整」を大きい値に調整すると小さな敵に正確に照準を合わせるような微細な操作が難しくなります。なお、「入力範囲の限界調整」と「デッドゾーン」を両方とも大きく調整すると、稼働領域が狭くなるため、さらに微細な操作が難しくなります。

☑スロットル移動量 2 倍保存：

スロットルの「移動量を 2 倍」に設定して、なおかつこの設定を記憶させます。

スロットルの稼働範囲が設定された値の半分の移動量で最大になる機能です。

チェックボックスを☑（オン）にすると、本機の USB ケーブルを取り外したり、RESET ボタンを押しても設定は消えません。

※本体のボタン操作でのみ行う特殊モードでは、「移動量の設定を 2 倍」に設定しても本機の USB ケーブルを取り外したり、RESET ボタンを押すと標準（1 倍）に戻ってしまいます。

※工場出荷時の設定は「オフ（切）」です。

☑スロットル” Z” 反転保存：

スロットルの上下（UP/DOWN）の動作を逆に設定して、なおかつこの設定を記憶させます。チェックボックスを☑（オン）にすると、本機の USB ケーブルを取り外したり、RESET ボタンを押しても設定は消えません。

※本機能は工場出荷時設定で「☑（オン）」に設定されています。

☑スティック移動量 2 倍保存：

スティックの「移動量を 2 倍」に設定して、なおかつこの設定を記憶させます。

スティックの稼働範囲が設定された値の半分の移動量で最大になる機能です。

チェックボックスを☑（オン）にすると、本機の USB ケーブルを取り外したり、RESET ボタンを押しても設定は消えません。

☑スティック” Y” 反転保存：

スティックの上下（UP/DOWN）の動作を逆に設定して、なおかつこの設定を記憶させます。チェックボックスを☑（オン）にすると、本機の USB ケーブルを取り外したり、RESET ボタンを押しても設定は消えません。

3、「連射速度調整」で連射の基準値を設定する

A ボタンと B ボタンの連射速度は、本体の「TRIGGER SPEED」で「MIN (最小)」－「MAX (最大)」で調整できますが、このアプリケーションでは「MIN (最小)」の時にどの程度の連射速度にするか、「MAX (最大)」の時にどの程度の連射速度にするか、を調整することができます。

連射最大値：本体の連射ボリュームが最大の時の連射度合いを設定できます。

連射最小値：本体の連射ボリュームが最小の時の連射度合いを設定できます。

※調整値はそれぞれの基準値における度合いを調整しているだけなので、連射最大値と連射最小値の数値が入れ替わったとしても連射スピードの大/小が入れ替わることはありません。

直接「E1」、「E2」セレクト設定保存

本機のボタン操作（取扱説明書 11 ページに記載）で、スロットルの「E1/E2」ボタンによる特殊モードを使用した場合の設定、移動量が弊社旧製品「XE-1AP」と似たような感覚で操作できるようになるモード（標準の 1.5 倍に相当）を記憶するかどうかの設定です（以下「AP モード」という）。

のときは有効となり「AP モード」を記憶可能になります。

なお、「スロットル移動量 2 倍保存」と「スティック移動量 2 倍保存」がの場合は「AP モード」に対して 2 倍となります。

「直接「E1」、「E2」セレクト設定保存」の挙動

[オフ] ：基準となる移動量は等倍（標準）です。工場出荷時設定。

|-----スロットル移動量 2 倍保存、またはスティック移動量 2 倍保存が以下のとき

[オフ] のとき：移動量は等倍（標準）です。工場出荷時設定。

[オン] のとき：移動量は等倍（標準）の 2 倍です。

[オン] ：基準となる移動量は AP と同等（等倍の 1.5 倍相当）です。

|-----スロットル移動量 2 倍保存、またはスティック移動量 2 倍保存が以下のとき

[オフ] のとき：移動量は AP の等倍です。

[オン] のとき：移動量は AP の 2 倍です。

<入力テストツール/入力テストツール（ミニ）>

「入力テストツール」は本機の動作を確認するためのアプリケーションです。

「入力領域調整ツール」や「アジャストサポートツール」で本機を調整したのち、本アプリケーションを用いて、実際に操作を行い、違和感がないか、最適な状態に仕上がっているかなど動作を確認してください。もちろん単に動作確認用のアプリケーションとしてご利用いただいても構いません。

「入力テストツール」には以下の二つの動作モードがあります。

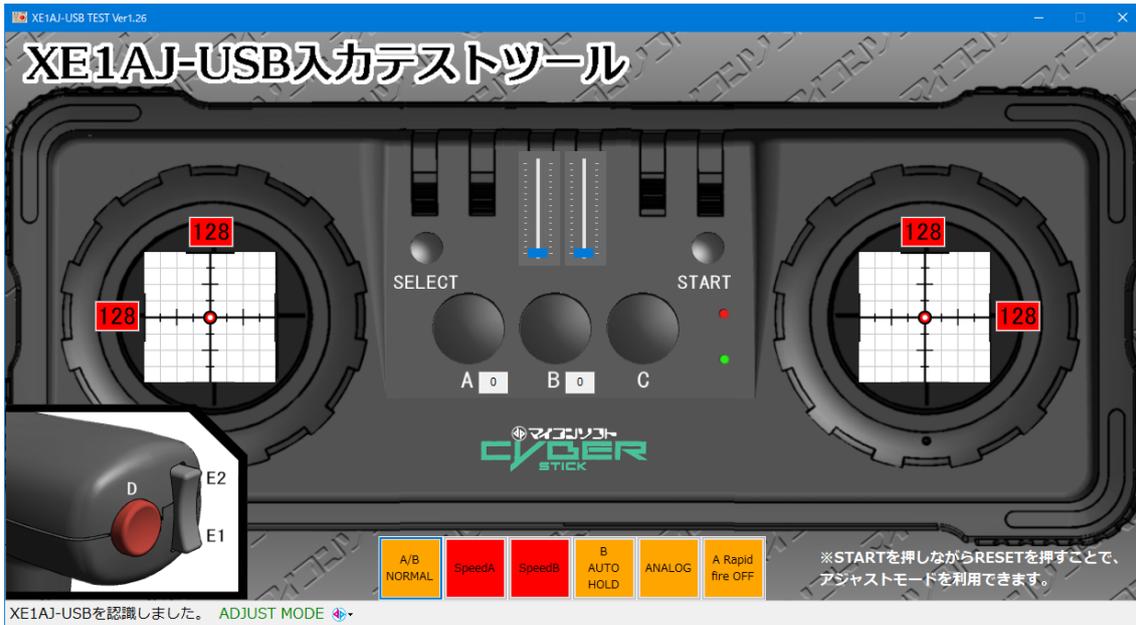
ノーマルモード (NORMAL MODE)

パソコンに本機の USB ケーブルを接続すると「ノーマルモード」で動作します。

スロットルやスティック、ボタンが機能しているかどうかなど、最低限の動作確認ができます。



アジャストモード (ADJUST MODE)



「START」ボタンを押しながら、パソコンに本機の USB ケーブルを接続すると「アジャストモード」で動作します。「ノーマルモード」よりも多くの機能、連射スピード (TRIGGER SPEED) やスイッチ類の動作を確認できます。

「アジャストモード」は本体の POWER ランプ[赤]と ADJUST ランプ[緑]が点灯します。

ウィンドウ内の赤くなっている項目が、すべてオレンジ色 (または赤以外の色) になるようスロットルやスティック、スイッチ類を操作してください (赤色のボタン「D」は変化しません)。

最後に「A」ボタンと「B」ボタンを 1 秒以上同時に押すと、「ノーマルモード」に戻ることができます (「RESET」ボタンを押してノーマルモードに戻ることもできます)。

なお、「アジャストモード」は、あくまでスティックやスロットル、各スイッチの「動作確認用」であるため、何かの設定や調整を本機に記憶する機能はありません。

※アジャストサポートツールと同じ操作・設定で赤い部分をオレンジ色 (またはその他の色) に変更することができます。とくに操作の順番はありません。